

取扱説明書

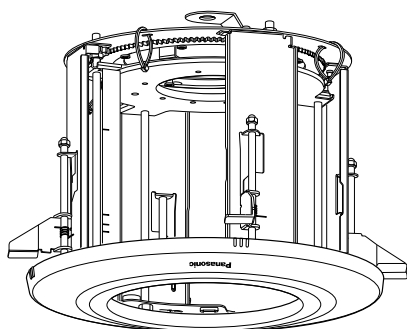
工事説明付き

カメラ天井埋込金具

品番 WV-Q126A

もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	3
設置上のお願い	6
各部の名前	8
<hr/>	
取り付けかた	9
<hr/>	
仕様	18



はじめに

工事

その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本金具は、カメラ用の天井埋込金具です。対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。

二重天井の石こうボードなど、ねじ引き抜き強度が弱い場所に使用できます。また、カメラ本体の露出部を小さく見せるため、埋込型になっています。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..... 1式

以下の付属品は取付工事に使用します。

落下防止ワイヤー..... 1本

落下防止ワイヤーアングル..... 1個

型紙A..... 1枚

型紙B..... 1枚

飾りカバー（メイン・サブ）

 セイルホワイト、シルバー各1個

ねじ（M4）.....5本（うち1本は予備）

紙ゲージ..... 1枚

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

専用のカメラ以外は 取り付けない



禁止

落下によるけがや事故の原因となります。



総質量に耐える場所に取り付ける



落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

定期的に点検する



金属やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



禁止

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

落下防止対策を施す



落下によるけがや事故の原因となります。

- 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。

専用の取付金具を使用する



落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、専用取付金具を使用してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける



落下によるけがや事故の原因となります。

警告

振動のないところに設置する



取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。

落とさない、強い衝撃を与えない



禁止

けがや火災の原因となります。

人がぶつからない高さに取り付ける



けがの原因となります。

ぶら下がらない、足場代わりにしない



禁止

落下などの事故の原因となります。

はじめに

注意

金属のエッジで手をこすらない



禁止

強くこするとけがの原因となります。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本金具の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、ネットワークカメラ、PCなど接続する機器の電源を切ってください。



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

本金具は屋内専用です

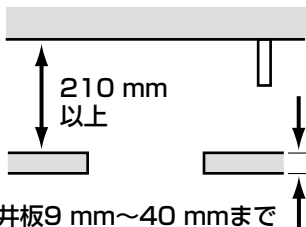
屋外での使用はできません。

長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

本金具を専用カメラ以外で使用しないでください。

カメラの取付場所について

- 設置場所は、カメラ取り付け時の縦質量に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- 天井裏が210 mm以上ある場所に設置してください。
- 天井板の厚さは、9 mm～40 mmまで取り付けが可能です。



以下のような場所での設置および使用はできません

- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲（ -10°C ～ $+55^{\circ}\text{C}$ ）を超える場所
- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本金具は車載用ではありません）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

カメラの取付方法について

本金具は吊り下げ設置専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。

アンカーボルトは別途ご用意ください

カメラ天井埋込金具を天井に取り付けるアンカーボルトは付属されていません。取付場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

- アンカーボルト：推奨M10
- 最低引抜強度
：カメラ本体を含めた総質量の5倍以上を確保してください。

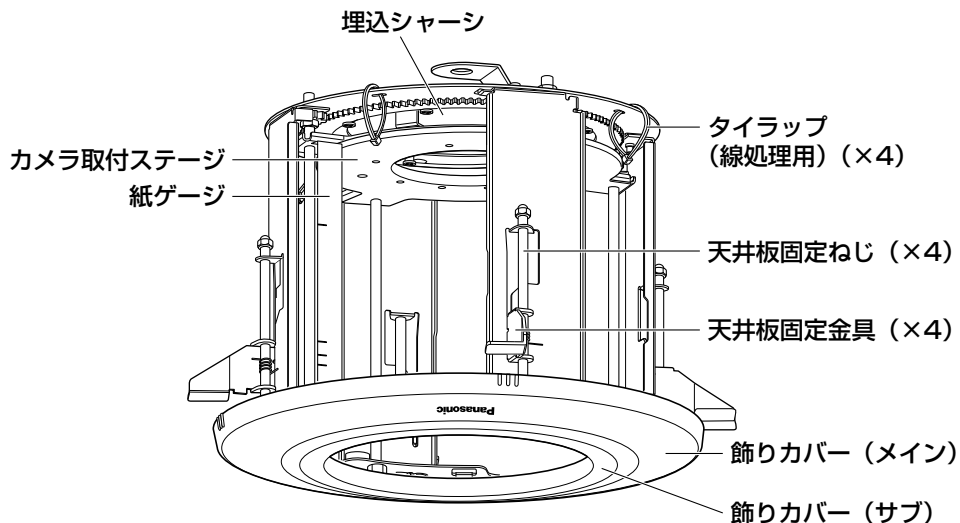
取付ねじの締め付けについて

- ねじは取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

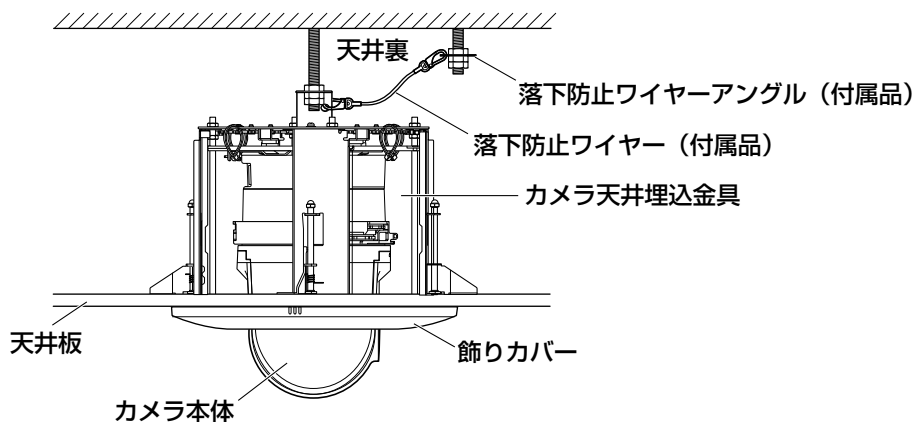
本金具を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

各部の名前

はじめに



〈設置例〉

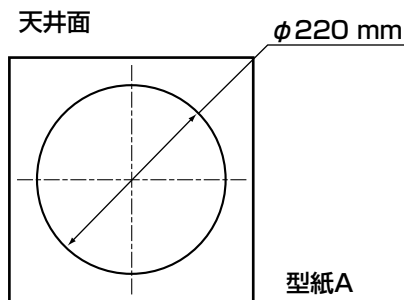


取り付けかた

取り付ける前に、「安全上のご注意」(P3ページ)「設置上のごお願い」(P6ページ)を必ずお読みください。また、取り付けるカメラの取扱説明書もお読みください。

STEP1

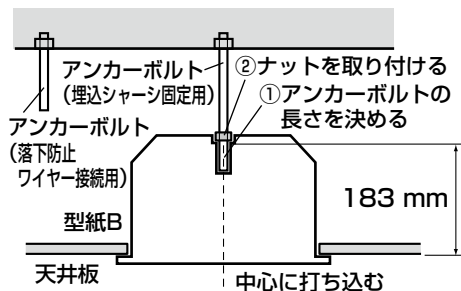
型紙A(付属品)を天井にあて、 $\phi 220$ mmの穴をあけます。



STEP2

天井にアンカーボルト(推奨:M10)2本を打ち込みます。片方は埋込シャーシ固定用で、もう片方は落下防止ワイヤー接続用です。

- ①型紙B(付属品)でアンカーボルト(埋込シャーシ固定用)の長さを決めます。
- ②型紙B(付属品)でナットの位置を決め、取り付けます(天井下面から183 mmの位置にナットの下面がくるようにします)。



重要

- アンカーボルトは、設置する機材(カメラ本体、カメラ天井埋込金具、アンカーボルト他すべての部品)の総重量の5倍以上の引抜強度があるものを選択してください。
- 落下防止ワイヤー接続用のアンカーボルトとして、すでに天井に打ち込まれているものを使用する場合は、カメラ取り付け位置から1 m以内にあることをご確認ください。

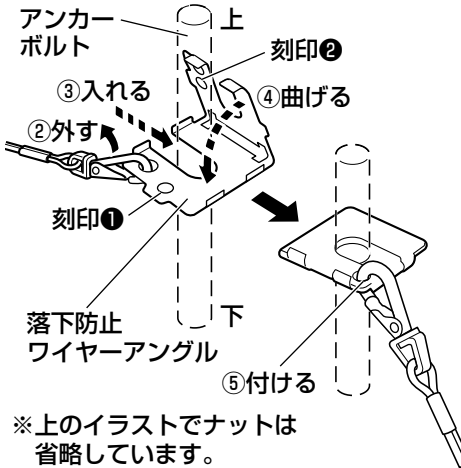
STEP3

アンカーボルト(落下防止ワイヤー接続用)に落下防止ワイヤーアングル(付属品)を固定し、落下防止ワイヤー(付属品)を取り付けます。

- ①アンカーボルト上の落下防止ワイヤーアングルを固定する位置にナットを取り付けます。
- ②落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルから外します。
- ③刻印①の面にアンカーボルトを入れます。
- ④刻印②の面を折り曲げます。
- ⑤落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルに取り付けます。
- ⑥下からナットを挿入し落下防止ワイヤーアングルを上下のナットで固定します。

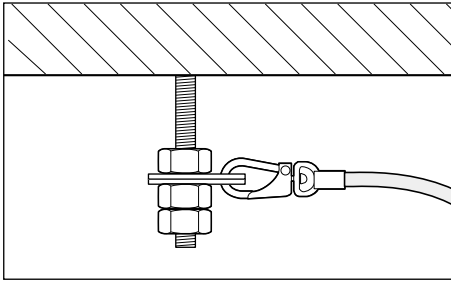
取り付けかた (つづき)

- ⑦さらに下からナットを挿入し、⑥で下から挿入したナットをダブルナットで締め付け固定します。



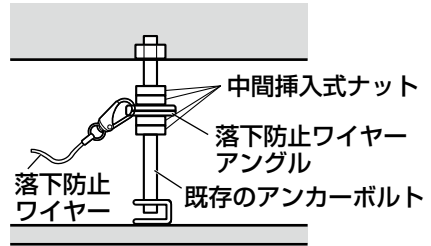
※上のイラストでナットは省略しています。

落下防止ワイヤー接続完成イメージ



メモ

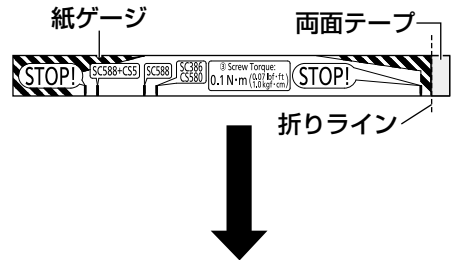
- すでに打ち込まれているアンカーボルトを落下防止ワイヤー接続用として使用する場合は、中間挿入式ナット（推奨：SN-W3/8ネグロス電気株式会社製）を2個使用すると便利です。



STEP4

紙ゲージ（付属品）をカメラ取付ステージに貼り付けます。

- ①紙ゲージの両面テープが付いている側を図のように直角に折り曲げます。

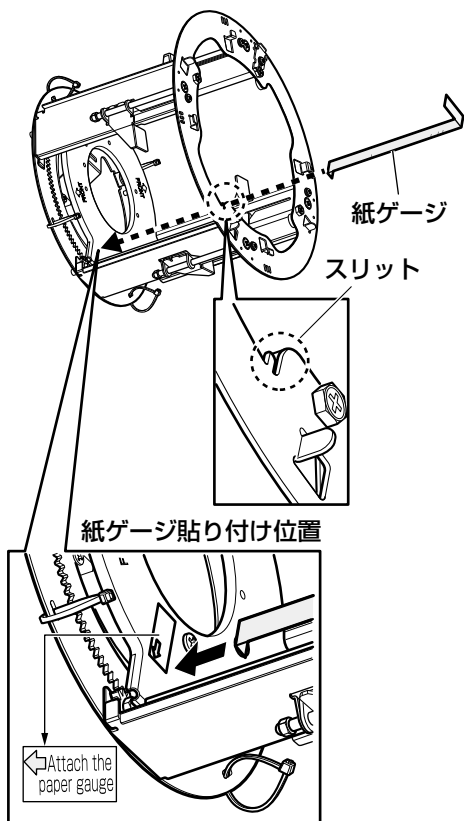


- ②紙ゲージの両面テープから剥離紙をはがします。



③本金具を下図のように横向きにし、紙ゲージをカメラ取付ステージに貼り付けます。

紙ゲージは下図のスリットを通るように貼り付けてください。



STEP5

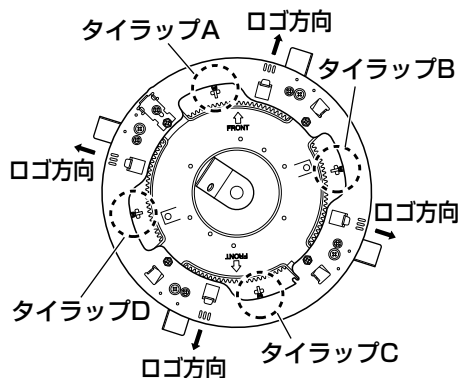
①あらかじめ、天井からのケーブル類を埋込金具に取り付けてあるタイラップの輪の中へ通しておきます。ケーブル類を通すために使用するタイラップは、モデルによって異なり

ます。以下の位置に通してください。カメラ取付金具（カメラ本体付属品）を使用するモデル



：下図のタイラップAまたはタイラップC

ベースユニット（カメラ本体部品）を使用するモデル

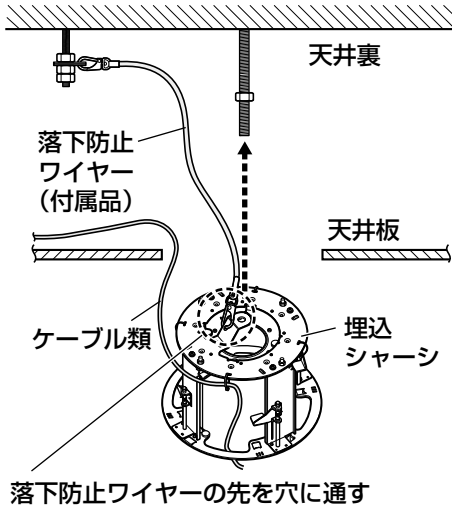
：下図のタイラップBまたはタイラップD



②埋込シャーシに落下防止ワイヤーを次ページの図のように取り付け、STEP1であけた穴に差し入れ、天井裏に入れ込みます。

このとき、埋込シャーシの  マークの方向に最終飾りカバーを取り付けたときのロゴの方向を合わせることができます。ブランドロゴの方向を気にされる方は、この  マークの方向で向きを決めてください。

取り付けかた (つづき)



STEP6

天井板固定ねじ (4か所：ラベル①のねじ) で埋込シャーシを天井に固定します。

①埋込シャーシの上部をアンカーボルト (埋込シャーシ固定用) に通します。

②天井板固定ねじを下から見て時計方向に回転させ、埋込シャーシを固定します。天井板固定ねじを回すと、天井板固定金具が天井板を挟み込み、固定できます。

推奨締付トルク

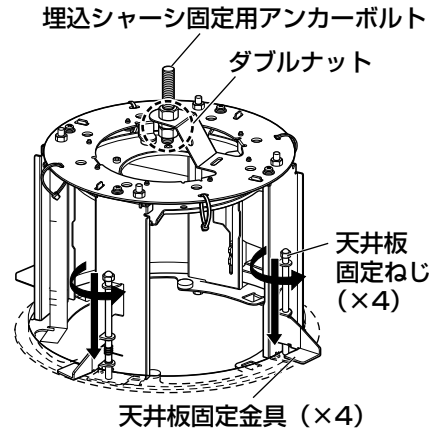
: 0.78 N・m {8.0 kgf・cm}

重要

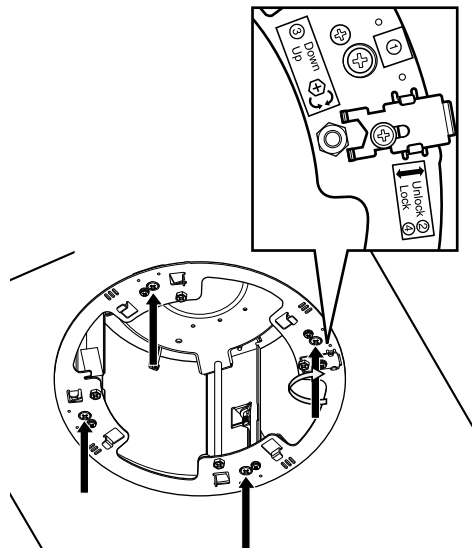
- 埋込シャーシを天井に固定する際、4つの天井板固定金具が右上図 (③) のように開いた状態になっていることを確認してください。

③ダブルナットで埋込シャーシの上部を固定します。

〈天井内のイメージ〉



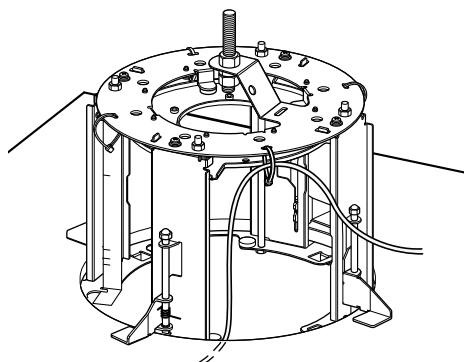
〈部屋からのイメージ〉



天井板固定ねじ (×4)
(埋込シャーシ外側)
(推奨締付トルク：
0.78 N・m {8.0 kgf・cm})

STEP7

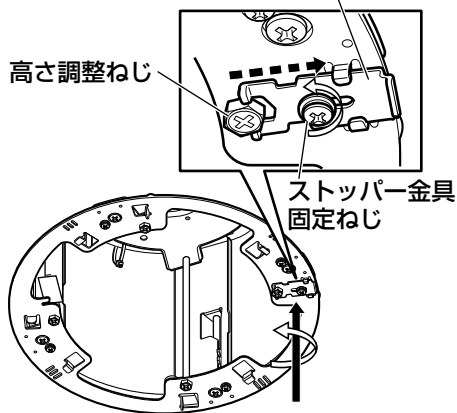
ケーブルを準備します。
埋込シャーシの隙間からケーブルを引き出してください。金具を天井に取付けたときの配線イメージは下図のようになります。配線が、天井板固定金具などに挟まらないようにしてください。



STEP8

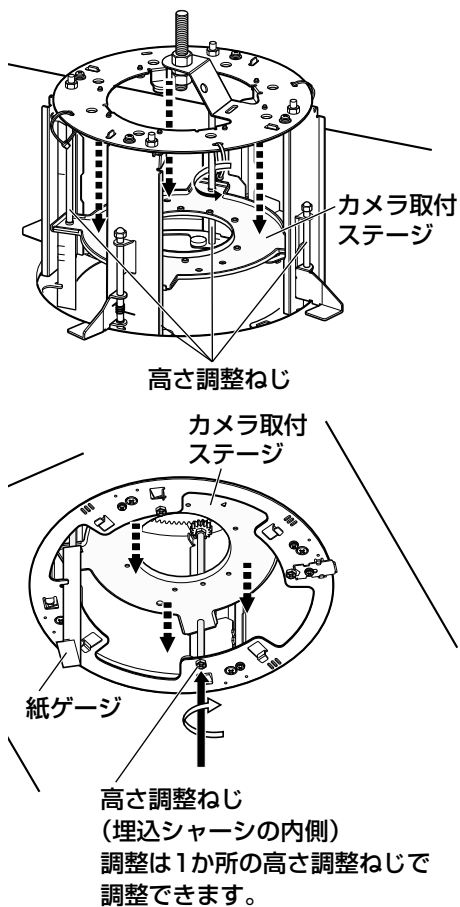
ストッパー金具固定ねじを緩めストッパー金具を本金具の外側に向けてスライドさせ（ラベルのUnlock②方向）、高さ調整ねじのロックを外します。

ストッパー金具



STEP9

高さ調整ねじ（4か所のうちどれか1か所）を下から見て時計方向に回転させ（ラベルの③Down方向）、カメラ取付ステージを奥から一番手前まで移動させます。このとき、カメラ取付ステージに取り付けられた紙ゲージも一緒に下がってきます。埋込シャーシとカメラ取付ステージとの間にケーブル類が挟み込まれないように線処理をしてください。



取り付けかた（つづき）

締付トルク：0.1 N・m {1 kgf・cm}
※0.29 N・m {3 kgf・cm} 以上のトルクをかけないでください。破損の原因となります。

STEP10

カメラ取付ステージにカメラ取付金具（カメラ本体付属品）またはベースユニット（カメラ本体部品）を取り付けます。

カメラ取付金具を使用する場合

：カメラ取付金具の↑FRONTマークと、カメラ取付ステージのケーブル類が通っていない方の↑FRONTマークとを合わせる。

ベースユニットを使用する場合

：ベースユニットの配線が出ている方向と、カメラ取付ステージのケーブル類が通っている方の⊙マークとを合わせる。

カメラ取付金具またはベースユニットはM4ねじ（付属品）で4か所固定します。

推奨締付トルク

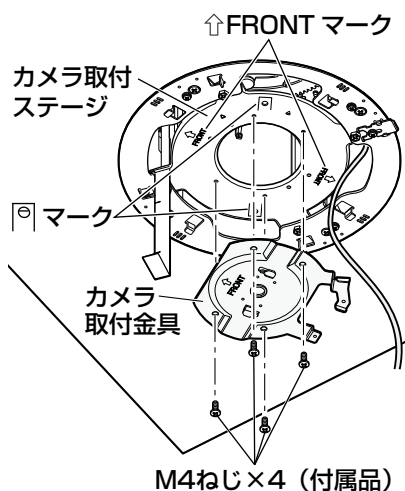
：1.57 N・m {16 kgf・cm}

配線は、埋め込みシャーシとカメラ取付ステージの間を通して下の方に出しておいてください。

ベースユニットを取り付けた場合は天井からの配線とベースユニットからの配線を接続してください。

メモ

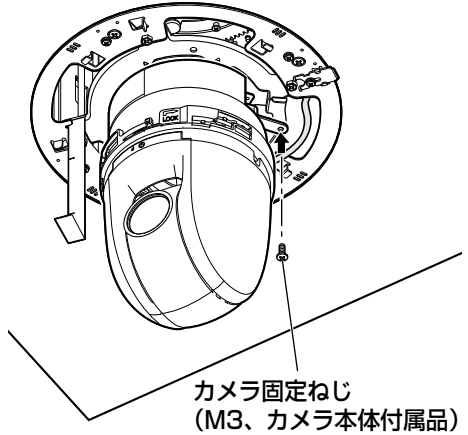
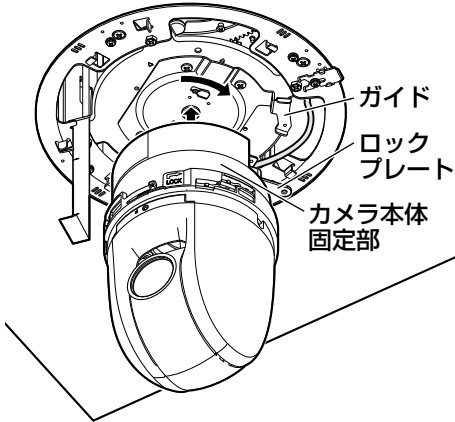
- ベースユニットまたはカメラ取付金具どちらを取り付けるかは、カメラの種類によって異なります。ベースユニットはカメラ本体部品、カメラ取付金具はカメラ本体付属品です。
- 以降の説明では、カメラ取付金具を取り付けた図を用いています。



STEP11

カメラにケーブル類を接続し、次ページの図のようにカメラの底部中心をカメラ取付金具の中心に合わせて差し込み、ロックプレートをガイドに合わせ、下から見て時計方向に約20°回転させて仮固定してください。

*カメラ取り付け方詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。



重要

- 取り付け時、ケーブルをはさまないように注意してください。
- 必ずカメラ本体固定部を持って取り付けてください。ドーム部を持ちながら取り付けると、故障の原因となります。

STEP12

カメラ固定ねじ (M3、カメラ本体付属品) 1本でカメラ本体とカメラ取付金具 (カメラ本体付属品) を固定します。

推奨締付トルク

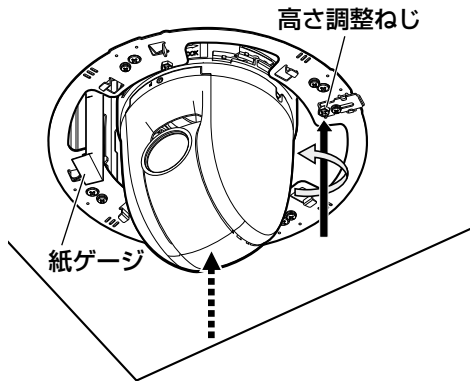
: 0.68 N・m {7 kgf・cm}

メモ

- WV-CS5S/WV-S5C (ドームカバー) を使用時は、カメラを固定後に取り付けます。

STEP13

高さ調整ねじ (4か所のうちどれか1か所) を下から見て反時計方向に回転させ (ラベルの③Up方向)、カメラ取付ステージを紙ゲージに表示されているご使用のモデル品番の位置まで上げます。



締付トルク

: 0.1 N・m {1 kgf・cm}

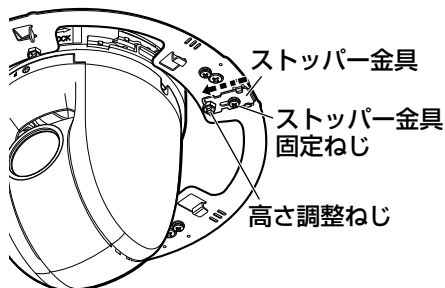
※0.29 N・m {3 kgf・cm} 以上のトルクをかけないでください。破損の原因となります。

取り付けかた (つづき)

カメラの高さ調整終了後、紙ゲージを引っ張り、本金具より取り外して廃棄してください。

STEP14

ストッパー金具を押し込み (ラベルの Lock④方向)、高さ調整ねじをロックしてください。次にストッパー金具をストッパー金具固定ねじで固定してください。

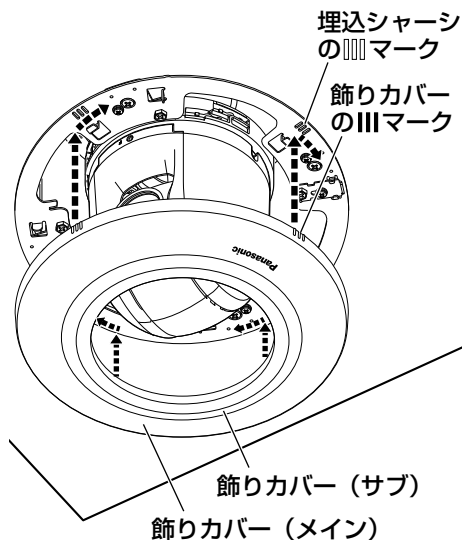


STEP15

カメラのレンズに付いている保護シートをはがしてください。

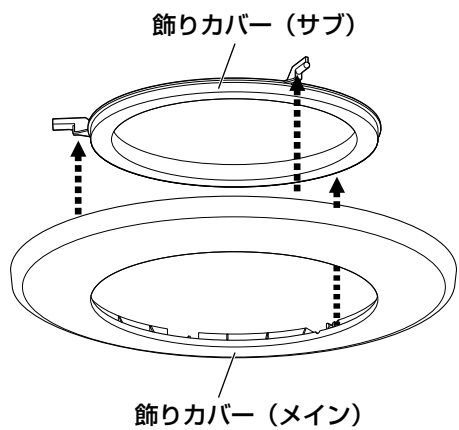
STEP16

本金具に同梱されている飾りカバーの III マークを埋込シャーシの III マークに合わせて飾りカバーを天井に押し付け、下から見て時計方向に回転させ、飾りカバーを固定します。



メモ

- 本金具を使ってカメラを天井に埋め込んで設置するときは、カメラ本体に同梱されている飾りカバーは使用しません。
 - WV-SC588 (ネットワークカメラ) に WV-CS5S/ WV-CS5C (ドームカバー) を組み合わせた状態で本金具を設置する場合は、飾りカバー (メイン) から飾りカバー (サブ) を外してご使用ください。
 - それ以外の場合は飾りカバー (メイン) に飾りカバー (サブ) が付いた状態でご使用ください。



仕様

使用温度範囲	-10℃～+55℃	
寸法	φ245 mm 高さ203 mm (飾りカバー含む)	
質量	約1.3 kg	
仕上げ	本体	: 表面処理鋼板
	飾りカバー	: ABS樹脂 (樹脂色: セイルホワイト、シルバー)

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本金具を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本金具を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本金具および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本金具を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ ワ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号